

令和4年度
江東区地域生活に関する調査
(江東区障害者実態調査)

【調査結果報告書】

令和5年3月



スポーツと人情が熱いまち

江東区

目 次

第 1 章 調査概要.....	1
1 調査目的.....	2
2 調査の種類と対象者.....	3
3 回収結果.....	3
4 調査項目.....	4
5 報告書の見方.....	10
第 2 章 障害者調査・障害児調査.....	11
1 ご本人の状況について.....	12
2 仕事や学校生活について.....	44
3 社会参加やコミュニケーションについて.....	66
4 情報・相談先について.....	75
5 サービスの利用について.....	90
6 暮らしについて.....	129
7 災害時の支援について.....	148
8 障害者施策について.....	177
9 障害者スポーツについて.....	224
10 共生社会について.....	230
11 介護者について.....	288
第 3 章 サービス提供事業所調査.....	317
1 事業所について.....	318
2 サービスの提供について.....	325
3 事業所運営について.....	350
4 連携について.....	399
第 4 章 障害者団体調査.....	417
1 相談・情報提供体制、コミュニケーション支援.....	418
2 自立生活支援.....	421
3 保健・医療.....	423
4 ユニバーサルデザイン、生活環境.....	426
5 雇用・就労.....	429
6 地域活動支援.....	432
7 区民の理解・共感の醸成・促進.....	436
8 地域生活環境整備.....	439
9 配慮を必要とするこどもに対する教育・療育.....	442

第 1 章

調査概要

1 調査目的

令和5年度に策定を予定している「江東区障害者計画、江東区障害福祉計画・障害児福祉計画」の基礎資料とするとともに、今後の施策のあり方を検討するため、「令和4年度江東区地域生活に関する調査(江東区障害者実態調査)」を実施しました。

それぞれの調査の目的は以下の通りです。

■調査目的

調査種別	目的
障害者調査	江東区に在住する、障害のある18歳以上の方や障害福祉サービスを利用されている方を対象とし、生活実態や福祉サービスの利用状況、ニーズ等を把握することを目的とします。
障害児調査	江東区に在住する、障害のある18歳未満の方や児童発達支援、放課後等デイサービス等に通われているお子様を養育している保護者の方を対象とし、生活実態や福祉サービスの利用状況、ニーズ等を把握することを目的とします。
サービス提供事業所調査	障害福祉サービスや障害児通所支援等を提供されている江東区内の事業所を対象とし、福祉サービスの提供状況や事業所を運営する上での課題等を把握することを目的とします。
障害者団体調査	江東区内で活動されている、障害福祉や障害者支援、障害児支援に関わる団体を対象とし、障害のある方を取り巻く状況や障害者施策のあり方に対するご意見等を把握することを目的とします。

2 調査の種類と対象者

■調査の種類と対象者

調査種別	障害者調査	障害児調査	サービス提供事業所調査	障害者団体調査
抽出方法	無作為抽出		悉皆調査	
調査地域	江東区全域			
調査方法	郵送配布・郵送回収		郵送配布・郵送回収 (一部の事業所・団体に対し、 対面でのヒアリングを実施)	
調査基準日	令和4年10月1日			
アンケート調査期間	令和4年10月13日～11月14日		令和4年10月6日～10月31日	
ヒアリング調査期間			令和4年11月7日～11月17日	

3 回収結果

■各調査の回収結果

調査種別	障害者調査	障害児調査	サービス提供事業所調査	障害者団体調査
配布数	3,921件	1,008件	212件	35件
有効回答数	1,555件	464件	136件	24件
有効回収率	39.7%	46.0%	64.2%	68.6%

4 調査項目

■障害者調査・障害児調査

項目	障害者調査	障害児調査	設問内容	ページ
1 ご本人の状況について	問1	問1	本人の年齢	12
	問2	問2	障害種別、身体障害の内訳	14
	問2-1		難病の診断を受けた年齢	18
	問2-2		高次脳機能障害の診断を受けた年齢	19
	問3	問3	障害者手帳について	20
		問4	発達に関する診断を受けているか	27
		問5	発達に関する問題に気づいた年齢	28
	問4		調査回答者	29
	問5	問6	同居者構成	31
	問6		日常生活で介助や支援の必要性	34
	問7	問7	定期的な通院状況	36
問8	問8	日常生活での医療的ケアの状況／受けている医療的ケアの内訳	39	
2 仕事や学校生活について	問9	問9	日中の活動について	44
	問10(1)		就業者の現在困っていること	47
	問10(2)		就業者の今後の希望	50
	問11(1)		自宅療養者等の現在困っていること	52
	問11(2)		自宅療養者等の今後の希望	54
	問12(1)		事業所等通所者の現在困っていること	55
	問12(2)		事業所等通所者の今後の希望	57
	問13(1)		学生等の現在困っていること	58
	問13(2)		学生等の今後の希望	60
		問10(1)	学校生活において心配している／困っていること	62
		問10(2)	卒業後の希望する進路	63
問14		仕事をしていくために必要なこと	64	
3 ケーシヨンについて 社会参加やコミュニティ	問15	問11	社会参加や余暇活動などで外出をするとき困ること	66
	問16	問12	社会参加の支援サービスについての要望	69
	問17	問13	余暇の過ごし方	72

項目	障害者調査	障害児調査	設問内容	ページ
4 情報・相談先について	問18	問14	福祉に関する情報入手経路	75
	問19	問15	福祉サービスの利用で困ったときの相談先	79
	問20	問16	福祉サービスの利用について区役所などへ相談しやすくするのに必要なこと	83
	問21	問17	情報の取得利用や意思疎通における必要な施策	87
5 サービスの利用について	問22	問18	福祉サービスの利用状況	90
	問23	問19	利用している福祉サービスの満足度	123
	問24	問20	現在利用している福祉サービス提供事業者への要望	126
6 暮らしについて	問25	問21	江東区の居住状況	129
	問26	問22	現在の住居形態	131
	問27		住まいに関して必要な支援	133
	問28	問23	家計の状況	136
	問29		将来希望している暮らし方	139
	問30	問24	希望する暮らしをするため／将来自立した生活を送るために必要なこと	140
		問25	江東区立図書館のサービスで充実してほしいこと	144
7 災害時の支援について	問31	問26	取り組んでみたい文化芸術活動	145
	問32	問27	避難行動要支援者名簿の認知度	148
	問33	問28	地域の防災訓練への参加意向	151
	問33-1	問28-1	地域の防災訓練に参加したくない理由	154
	問34	問29	災害時に必要な支援	165
	問35	問30	災害発生時に困ることや不安なこと	169
	問36	問31	災害に対する備え	173

項目	障害者調査	障害児調査	設問内容	ページ
8 障害者施策について	問37	問32	障害者差別解消法の認知度	177
	問38	問33	障害者虐待防止センターの認知度	180
	問39	問34	差別経験の有無	183
	問40	問35	障害者への虐待や差別を防ぐのに必要なこと	186
	問41	問36	日常生活で周囲からの配慮を感じるか	189
	問42	問37	3年前と比べて江東区の障害者施策は充実したか	191
	問43	問38	3年前と比べて江東区の福祉サービスは変化したか	193
	問44	問39	障害者支援施策の満足度	196
	問45	問40	周りの人から助けてもらったり、してもらってうれしかったこと	198
9 障害者スポーツについて	問46	問41	取り組んでみたいスポーツ	224
	問47	問42	スポーツ・レクリエーションを行う際に困っていること	227
10 共生社会について	問48	問43	近所付き合いの程度	230
	問49	問44	外出先で手助けや配慮をしてもらった経験	233
	問50	問45	江東区での暮らしについて	236
	問51	問46	江東区に住み続けたいか	238
	問52	問47	共に生活できる地域社会の実現のために大切だと考えること	240
	問53	問48	ヘルプマークの認知度	243
	問54ア)		成年後見制度の認知度	246
	問54イ)		日常生活自立支援事業の認知度	247
	問55	問49	公園で不便に感じていること	248
	問56	問50	幸福度	251
問57	問51	江東区の障害者施策に関する自由意見	254	

項目	障害者調査	障害児調査	設問内容	ページ
11 介護者について	問58		介護者の続柄	288
	問 58 ア)		介護者の年齢	290
	問 58 イ)		介護者の1日の介護時間	291
	問59		介護者の障害者差別解消法の認知度	293
	問60		介護者が介護できなくなった場合の対応	295
	問61		家族介護の支援策として今後充実してほしいこと	296
	問62	問52	介護者の要介護認定の状況	298
	問63	問53	介護者の勤務形態	300
	問64	問54	介護のための働き方の調整の有無	302
	問65	問55	仕事と介護の両立に効果がある勤め先の支援	305
	問66	問56	今後の仕事と介護の両立状況	308
		問57	子どもが18歳になった時の希望	310
	問67	問58	将来について不安に思うこと	311
	問68	問59	医療的ケアを必要とする人／子どもの介護について困りごとや不安に思うこと	314

■サービス提供事業所調査

項目	設問番号	設問内容	ページ
1 事業所について	問1	事業所の経営主体	318
	問2	事業所の職員数	320
	問3	指定を受けているサービス	322
	問4	介護保険サービスの指定を受けているか	323
	問5	事業所の開業年	324
2 サービスの提供について	問6	サービス提供について	325
	問7	サービスの「実際の提供量」と「提供可能な量」	332
	問8	サービスを提供する上での課題	333
	問9	利用者からの相談や苦情内容	336
	問10	人材育成のための取組	338
	問11	サービスの質向上のための取組	340
	問12	拡充したいと思う支援の分野	344
	問13	拡充したいと思う知識やスキルの分野	347
3 事業所運営について	問14	力を入れている提供サービス	350
	問15	提供サービスの収入割合	351
	問16	事業所を運営していく上での課題	352
	問17	人材確保のために取り組んでいること	355
	問18	今年度の収支状況	357
	問19	前年度との収支状況の比較	359
	問20	収支の向上や改善についての考え	361
	問21	新規参入や事業拡大を検討している事業	362
	問22	新規参入や事業拡大する上での課題	365
	問23	新規参入や事業拡大促進のために必要な区取組	366
	問24	職員数の充足状況	368
	問24-1	職員数が不足している理由	369
	問25	不足していると思われるサービスや支援	370
	問26	入所者の地域生活への移行を進める上での課題	379
	問27	入所者の地域生活への移行を進める上で工夫していること	381
	問28	虐待防止策の取組	383
	問29	職員による虐待やハラスメント防止のための工夫	385
	問30	利用者による暴力やハラスメント防止のための工夫	387
	問31	利用者の意思決定支援の対応状況	389
問32	災害時対策についての取組	397	

項目	設問番号	設問内容	ページ
4 連携について	問33(1)	地域社会との関わりについて行っていること	399
	問33(2)	地域社会との関わりについてこれから行えること	401
	問34	地域との連携を図るために行っていること	403
	問35	連携している関係機関・団体	405
	問36	関係機関・団体との連携を強化するために必要なこと	407
	問37	江東区の障害者施策に関する自由意見	409

■障害者団体調査

設問番号	設問内容	ページ
問1	相談・情報提供体制、コミュニケーション支援	418
問2	自立生活支援	421
問3	保健・医療	423
問4	ユニバーサルデザイン、生活環境	426
問5	雇用・就労	429
問6	地域活動支援	432
問7	区民の理解・共感の醸成・促進	436
問8	地域生活環境整備	439
問9	配慮を必要とする子どもに対する教育・療育	442

5 報告書の見方

●集計について

本報告書では、設問ごとに全体の集計結果を記載しています。

●「n」について

グラフ中の「n」とは、number of casesの略で、各設問に該当する回答者総数を表します。したがって、各選択肢の%に「n」を乗じることで、その選択肢の回答者が計算できます。

●「%」について

グラフ中の「%」は、小数点第2位以下を四捨五入しているため、単数回答の設問(1つだけに○をつけるもの)であっても、合計が100%にならない場合があります。また、複数回答の設問(あてはまるものすべてに○をつけるもの等)の場合は、「n」に対する各選択肢の回答者数の割合を示します。

●選択肢の記載について

グラフ中の選択肢は、原則として調査票に記載された表現のまま記載していますが、一部、必要に応じて省略しています。

●「無回答」について

グラフ中において「無回答」とあるものは、回答がない、または回答の判別が困難なものです。

●クロス集計表について

クロス集計表の表側(左端の分類層)は「無回答」を除いているため、各層の実数と集計対象の総数が一致しないことがあります。

●前回調査の掲載について

「R1調査」は「令和元年度江東区地域生活に関する調査(江東区障害者実態調査)」を指しており、適宜調査結果を掲載しています。「R1調査」実施時と設問や選択肢が異なるものがあります。

第 2 章

障害者調査・障害児調査

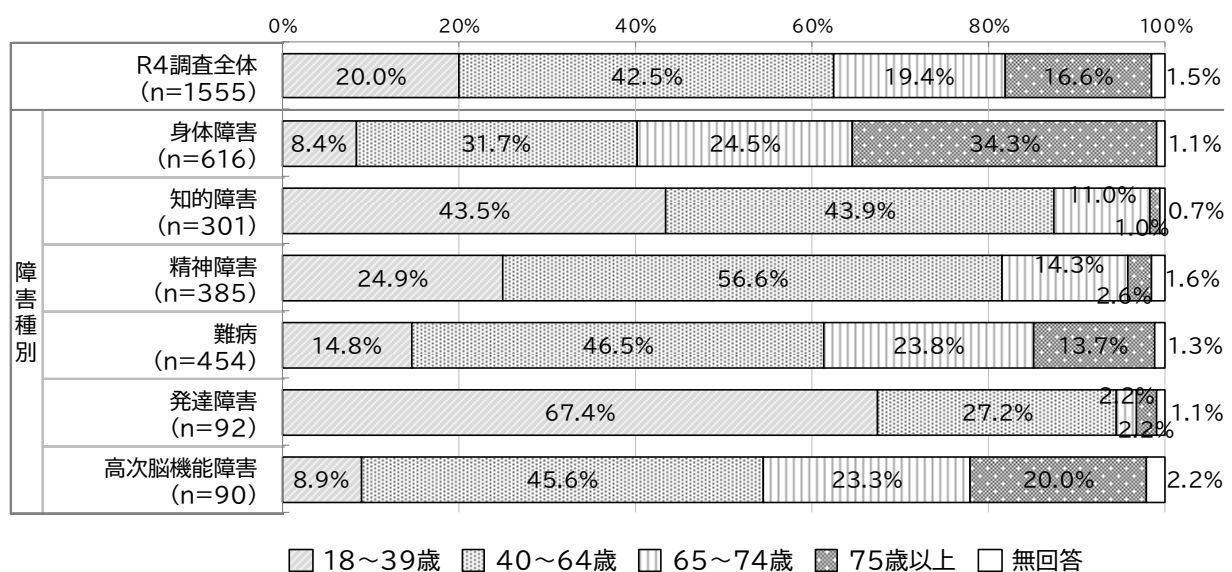
1 ご本人の状況について

問. あなた(ご本人)の年齢は、何歳ですか。令和4年10月1日現在の年齢を記入してください。

<障害者調査 問1>

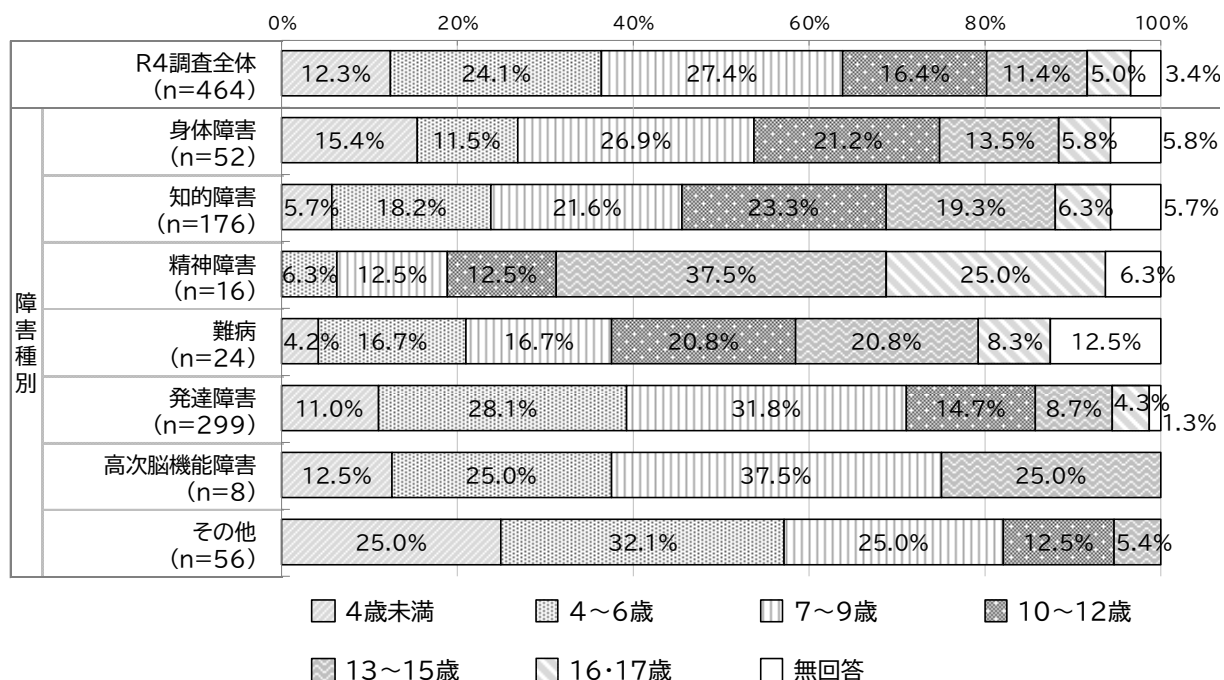
本人の年齢について、令和4年調査全体では「40～64歳」が42.5%と最も高く、次いで「18～39歳」が20.0%、「65～74歳」が19.4%となっています。

障害種別ごとにみると、発達障害で「18～39歳」が67.4%、精神障害で「40～64歳」が56.6%、身体障害で「75歳以上」が34.3%と他の障害種別と比較して高くなっています。

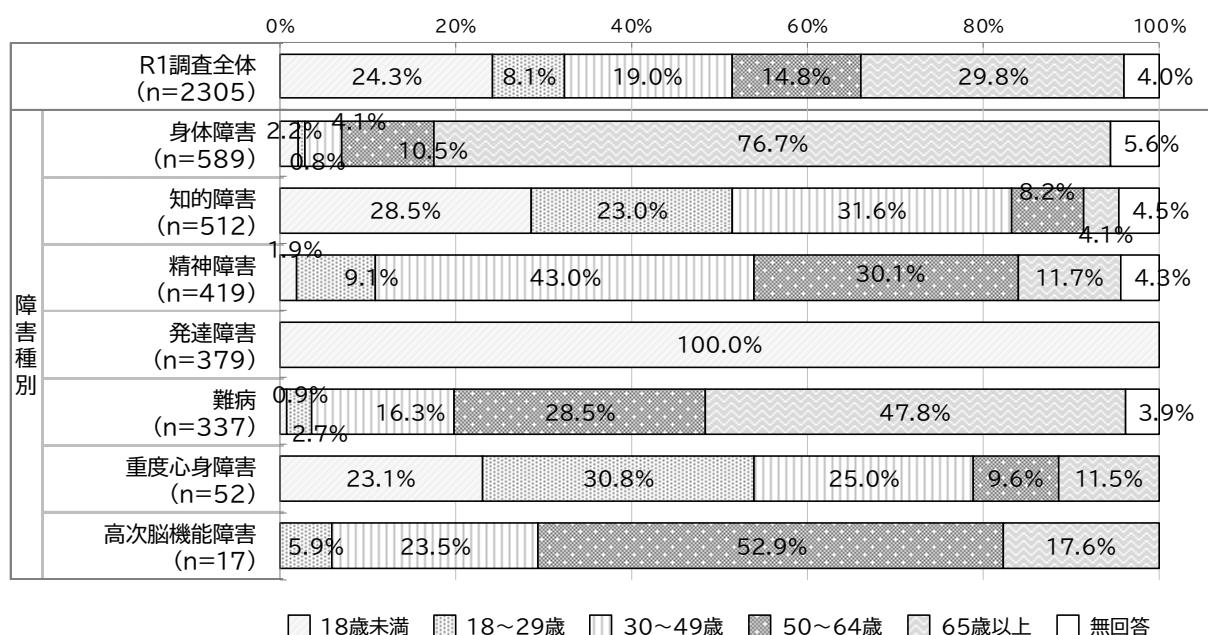


<障害児調査 問1>

子どもの年齢について、令和4年調査全体では「7～9歳」が27.4%と最も高く、次いで「4～6歳」が24.1%、「10～12歳」が16.4%となっています。



<参考 R1調査 障害者調査・障害児調査>

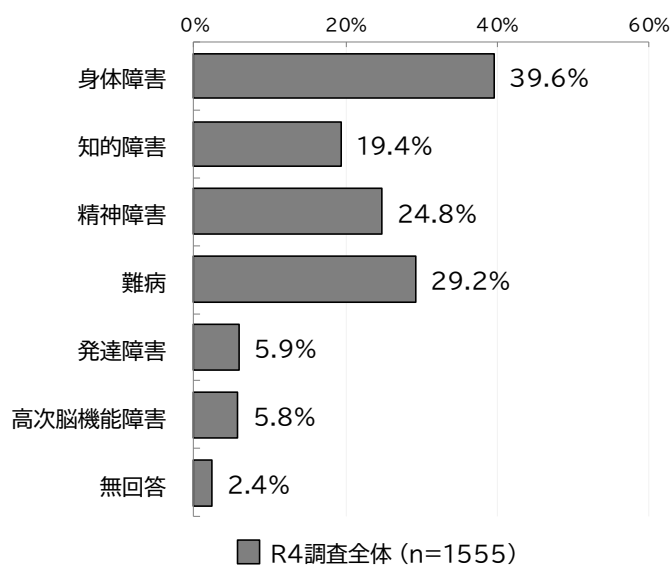


問. あなた(ご本人)の障害について、お聞きします。あてはまるものすべてに○をつけてください。

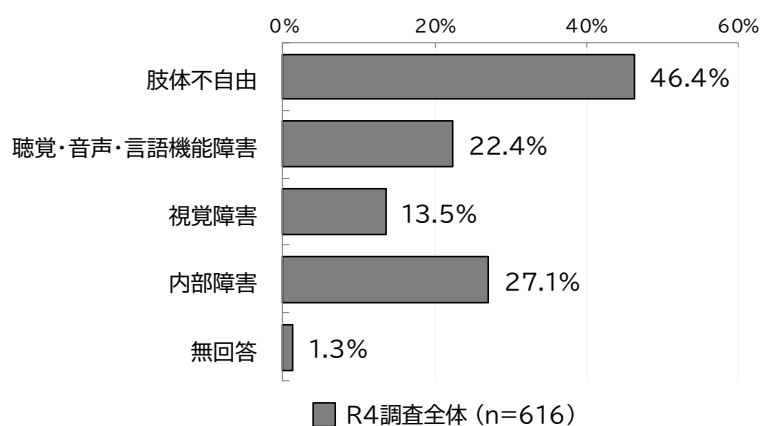
<障害者調査 問2>

障害について、令和4年調査全体では「身体障害」が39.6%と最も高く、次いで「難病」が29.2%、「精神障害」が24.8%となっています。

「身体障害」の方の種別をみると、令和4年調査全体では「肢体不自由」が46.4%と最も高く、次いで「内部障害」が27.1%、「聴覚・音声・言語機能障害」が22.4%となっています。



【身体障害の種別】



年齢ごとにみると、75歳以上で「身体障害」が81.8%と他の年齢と比較して高くなっています。また、18～39歳で「知的障害」が42.1%、「発達障害」が19.9%と他の年齢と比較して高くなっています。

「身体障害」の方の種別は、どの年代も「肢体不自由」が最も高く、特に18～39歳が61.5%と高くなっています。「内部障害」は、年齢が上がるほど高く、18～39歳で17.3%ですが、75歳以上で30.3%となっています。

1段目 人 2段目 %		合計	問2.障害種別						
			身体障害	知的障害	精神障害	難病	発達障害	高次脳機能障害	無回答
年齢別	18～39歳	311 100.0%	52 16.7	131 42.1	96 30.9	67 21.5	62 19.9	8 2.6	1 0.3
	40～64歳	661 100.0%	195 29.5	132 20.0	218 33.0	211 31.9	25 3.8	41 6.2	8 1.2
	65～74歳	301 100.0%	151 50.2	33 11.0	55 18.3	108 35.9	2 0.7	21 7.0	5 1.7
	75歳以上	258 100.0%	211 81.8	3 1.2	10 3.9	62 24.0	2 0.8	18 7.0	18 7.0

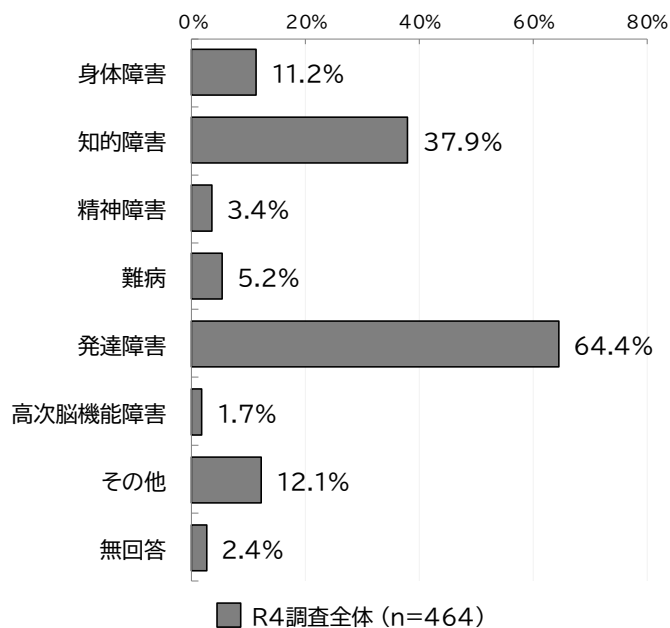
【身体障害の種別】

1段目 人 2段目 %		合計	問2(1).身体障害の内訳				
			肢体不自由	障害 聴覚・ 音声・ 言語機能	視覚 障害	内部 障害	無回答
年齢別	18～39歳	52 100.0%	32 61.5	11 21.2	6 11.5	9 17.3	1 1.9
	40～64歳	195 100.0%	93 47.7	44 22.6	27 13.8	49 25.1	1 0.5
	65～74歳	151 100.0%	73 48.3	33 21.9	17 11.3	44 29.1	3 2.0
	75歳以上	211 100.0%	84 39.8	50 23.7	31 14.7	64 30.3	3 1.4

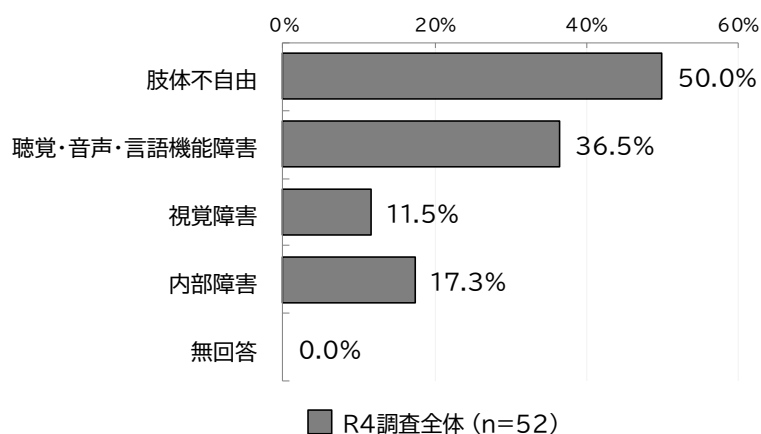
<障害児調査 問2>

障害について、令和4年調査全体では「発達障害」が64.4%と最も高く、次いで「知的障害」が37.9%となっています。

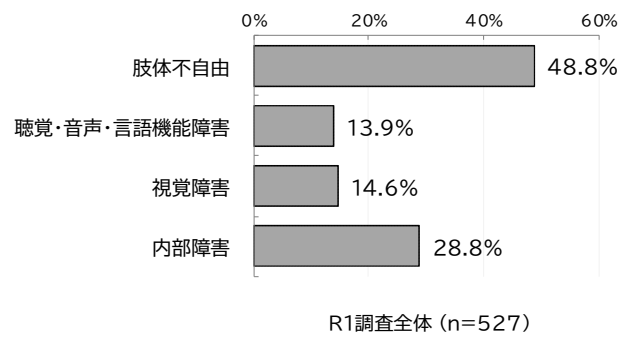
「身体障害」の方の種別をみると、令和4年調査全体では「肢体不自由」が50.0%と最も高く、次いで「聴覚・音声・言語機能障害」が36.5%、「内部障害」が17.3%となっています。



【身体障害の種別】



<参考 R1調査 障害者調査・障害児調査>

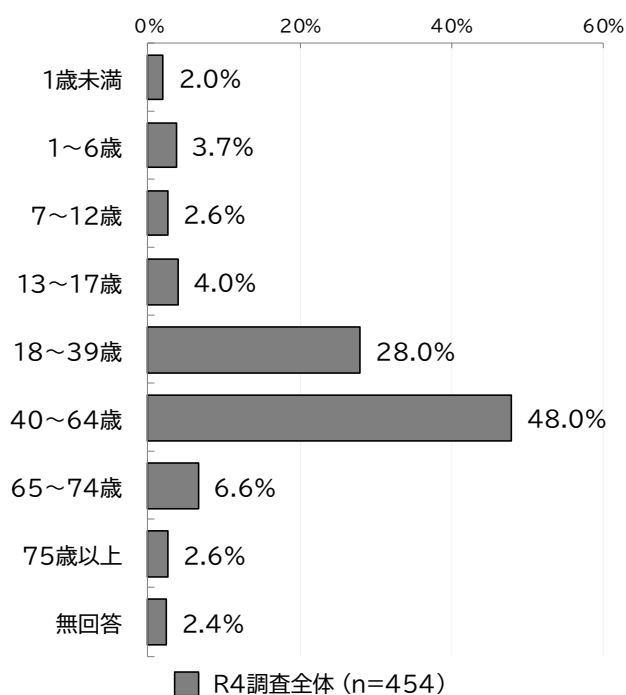


問. 問2で4に○をつけた方にうかがいます。

あなた(ご本人)が、難病の診断を受けたのは、何歳頃ですか。年齢を記入してください。

<障害者調査 問2-1>

「難病」の方が難病の診断を受けた年齢について、令和4年調査全体では「40～64歳」が48.0%と最も高く、次いで「18～39歳」が28.0%となっています。

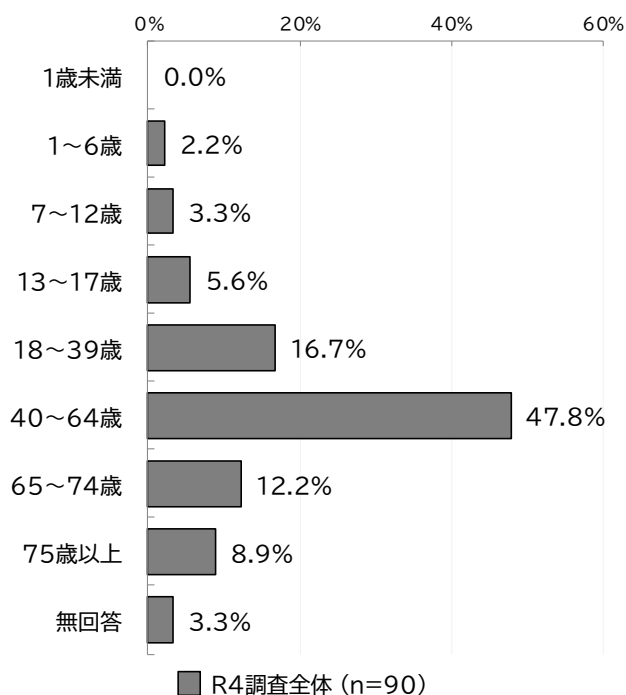


問. 問2で6に○をつけた方にうかがいます。

あなた(ご本人)が、高次脳機能障害の診断を受けたのは、何歳の時ですか。年齢を記入してください。

<障害者調査 問2-2>

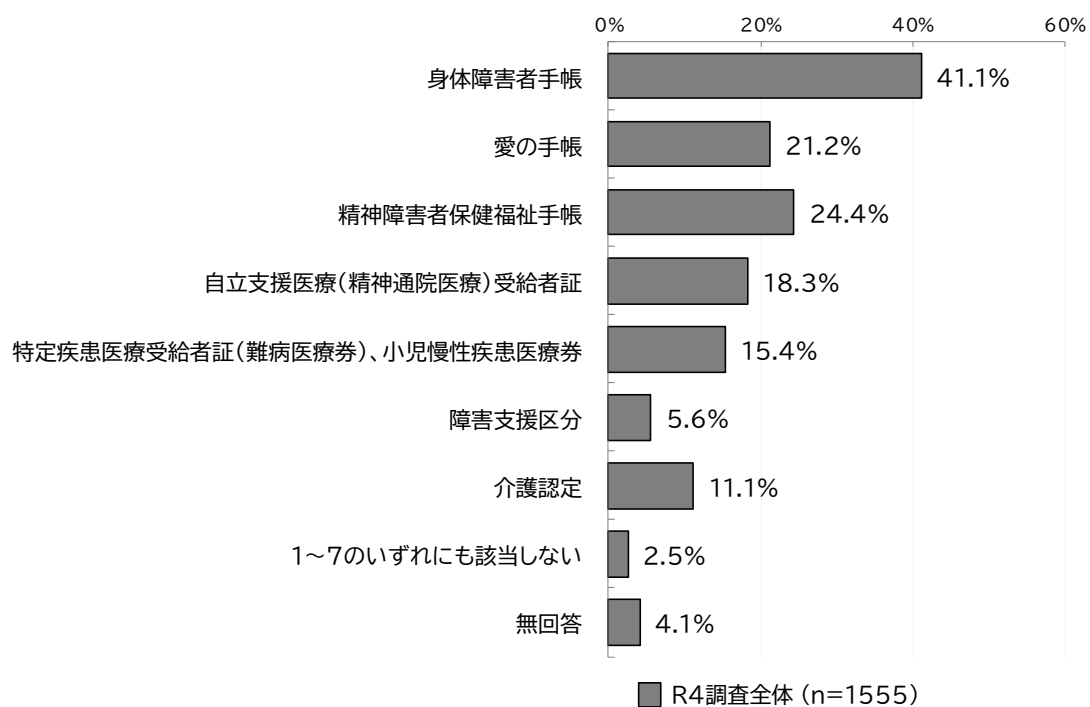
「高次脳機能障害」の方が高次脳機能障害の診断を受けた年齢について、令和4年調査全体では「40～64歳」が47.8%と最も高く、次いで「18～39歳」が16.7%、「65～74歳」が12.2%となっています。



問. あなた(ご本人)が、お持ちの障害者手帳などについて、お聞きします。あてはまるものすべてに○をつけてください。[]内の等級にも○をつけてください。

<障害者調査 問3>

持っている障害者手帳について、令和4年調査全体では「身体障害者手帳」が41.1%と最も高く、次いで「精神障害者保健福祉手帳」が24.4%、「愛の手帳」が21.2%となっています。



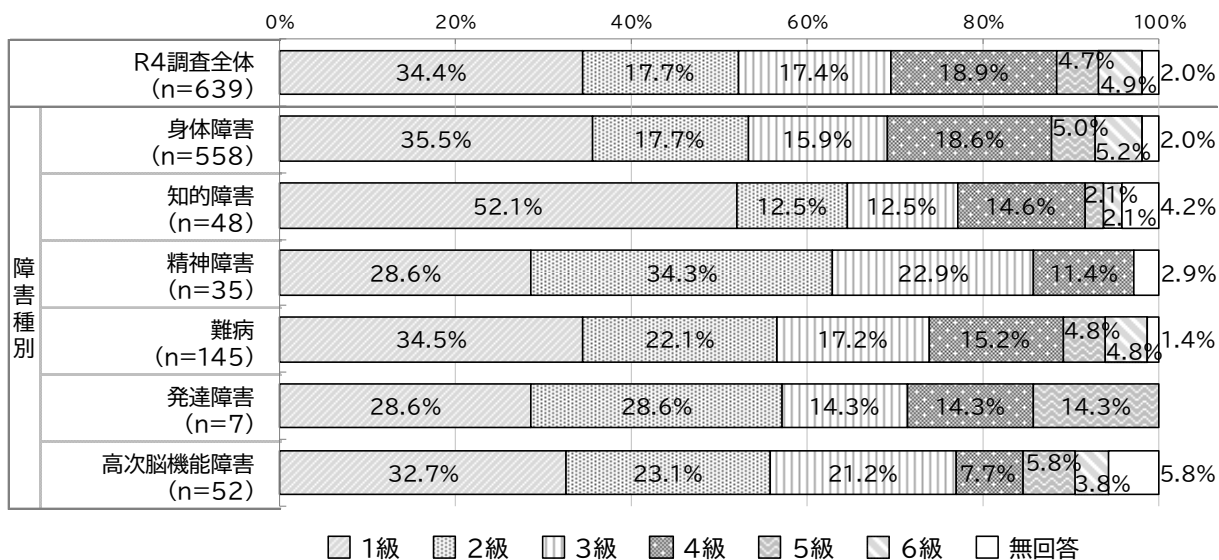
障害種別ごとにとみると、身体障害は「身体障害者手帳」が90.6%、知的障害は「愛の手帳」が96.3%、精神障害は「精神障害者保健福祉手帳」が87.3%、難病は「特定疾患医療受給者証（難病医療券）、小児慢性疾患医療券」が51.3%、発達障害は「精神障害者保健福祉手帳」が57.6%、高次脳機能障害は「身体障害者手帳」が57.8%で最も高くなっています。

1段目 人 2段目 %	合計	問3.障害者手帳について									
		身体障害者手帳	愛の手帳	精神障害者保健福祉手帳	受給者証 自立支援医療（精神通院医療）	特定疾患医療受給者証（難病医療券） 小児慢性疾患医療券	障害支援区分	介護認定	1～7のいずれにも該当しない	無回答	
障害種別	身体障害	616 100.0%	558 90.6	58 9.4	29 4.7	32 5.2	44 7.1	34 5.5	128 20.8	1 0.2	18 2.9
	知的障害	301 100.0%	48 15.9	290 96.3	18 6.0	40 13.3	4 1.3	63 20.9	13 4.3	0 0.0	7 2.3
	精神障害	385 100.0%	35 9.1	31 8.1	336 87.3	230 59.7	9 2.3	13 3.4	27 7.0	1 0.3	9 2.3
	難病	454 100.0%	145 31.9	33 7.3	31 6.8	27 5.9	233 51.3	17 3.7	54 11.9	39 8.6	26 5.7
	発達障害	92 100.0%	7 7.6	42 45.7	53 57.6	37 40.2	3 3.3	10 10.9	1 1.1	0 0.0	0 0.0
	高次脳機能障害	90 100.0%	52 57.8	15 16.7	25 27.8	20 22.2	5 5.6	7 7.8	21 23.3	1 1.1	4 4.4

【身体障害者手帳の等級】

身体障害者手帳の等級について、令和4年調査全体では「1級」が34.4%と最も高く、次いで「4級」が18.9%、「2級」が17.7%、「3級」が17.4%となっています。

障害種別ごとにみると、持っている方が多い身体障害では「1級」が35.5%と最も高く、次いで「4級」が18.6%となっています。また、次に持っている方が多い高次脳機能障害では「1級」が32.7%と最も高く、次いで「2級」が23.1%となっています。

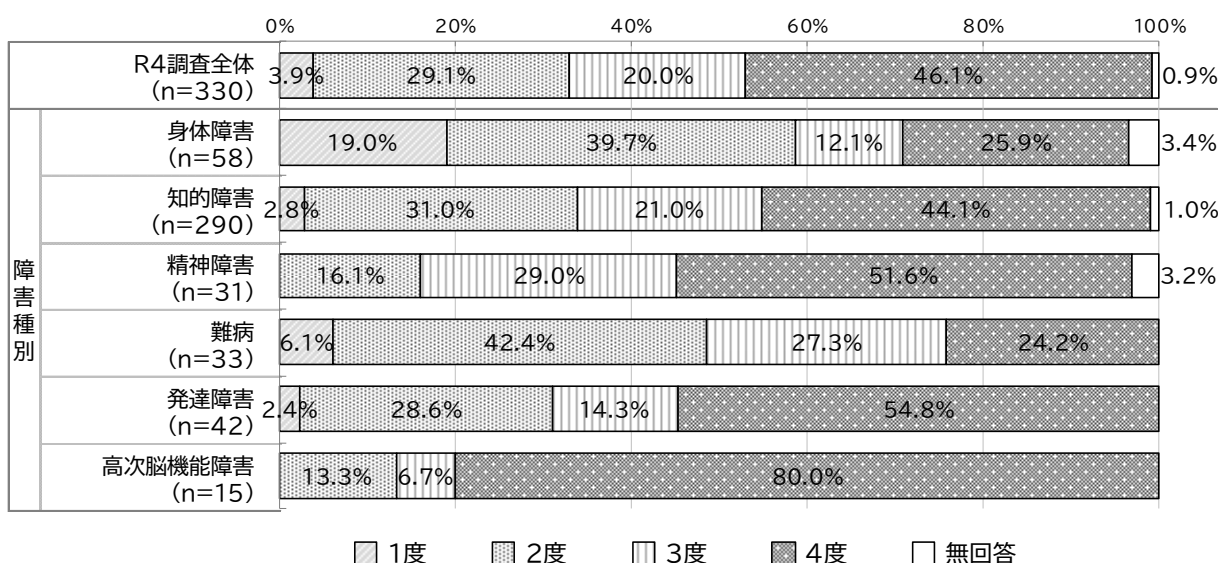


□ 1級 □ 2級 □ 3級 □ 4級 □ 5級 □ 6級 □ 無回答

【愛の手帳の等級】

愛の手帳の等級について、令和4年調査全体では「4度」が46.1%と最も高く、次いで「2度」が29.1%、「3度」が20.0%となっています。

障害種別ごとにみると、持っている方が多い知的障害では「4度」が44.1%と最も高く、次いで「2度」が31.0%となっています。

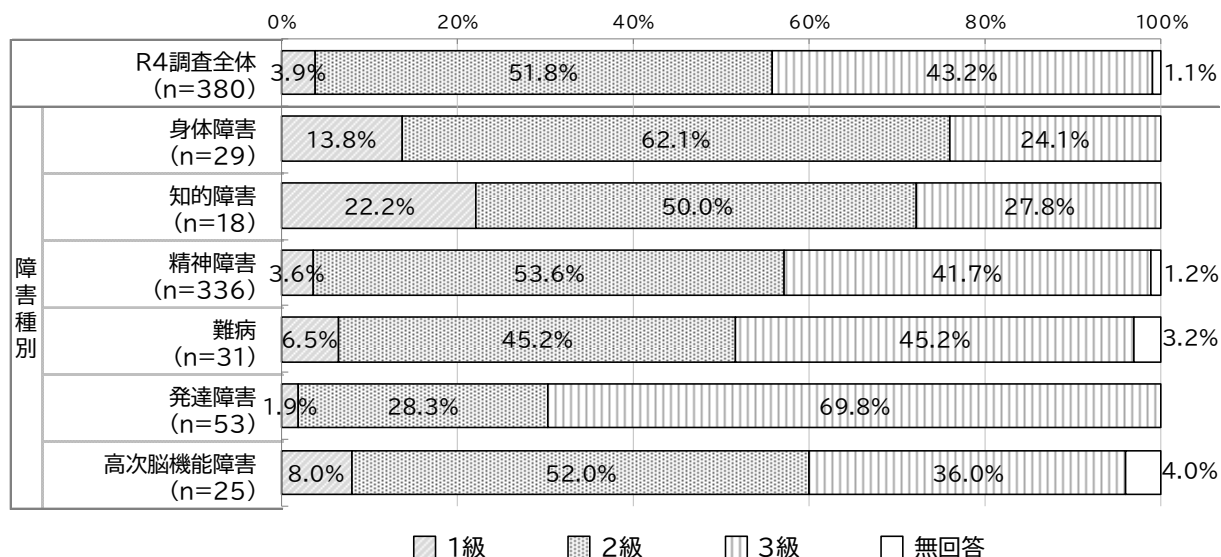


□ 1度 □ 2度 □ 3度 □ 4度 □ 無回答

【精神障害者保健福祉手帳の等級】

精神障害者保健福祉手帳の等級について、令和4年調査全体では「2級」が51.8%と最も高く、次いで「3級」が43.2%となっています。

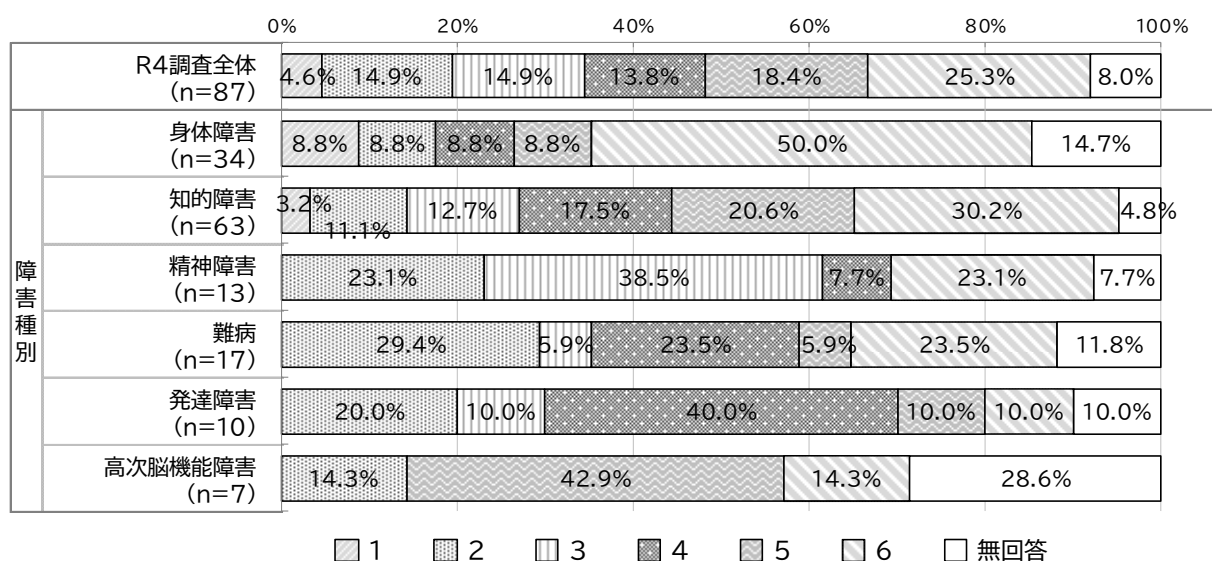
障害種別ごとにみると、持っている方が多い精神障害では「2級」が53.6%と最も高く、次いで「3級」が41.7%となっています。また、次に持っている方が多い発達障害では「3級」が69.8%と最も高く、次いで「2級」が28.3%となっています。



【障害支援区分の段階】

障害支援区分の段階について、令和4年調査全体では「6」が25.3%と最も高く、次いで「5」が18.4%、「2」「3」が同率で14.9%となっています。

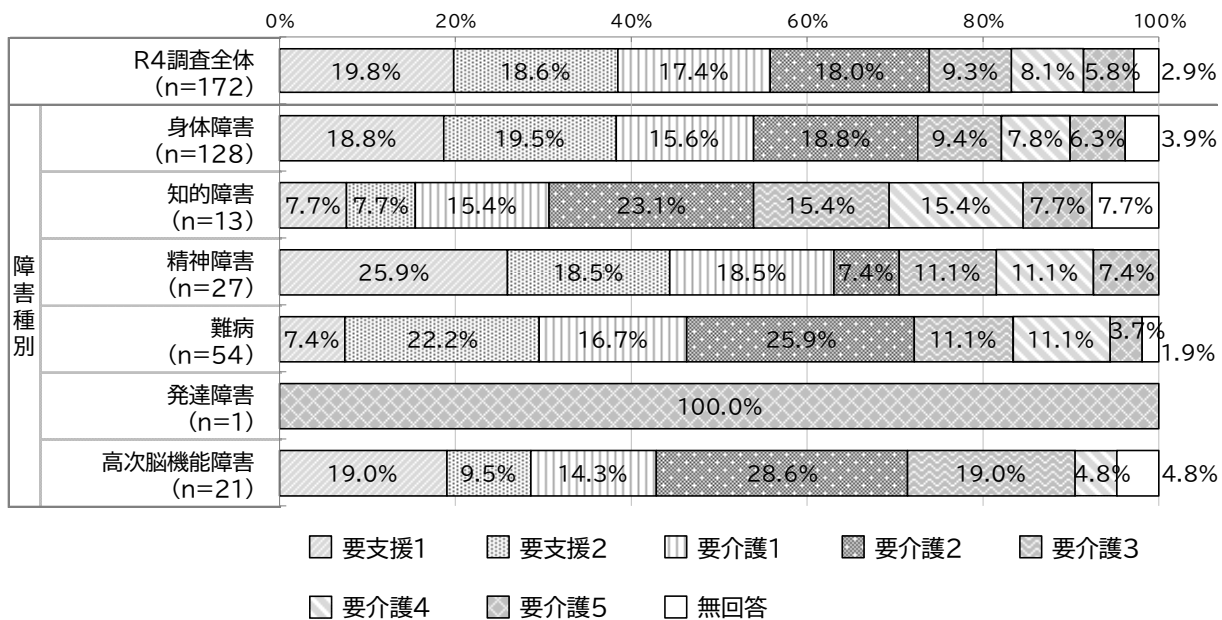
障害種別ごとにみると、身体障害で「6」が50.0%と他の障害種別と比較して高くなっています。



【介護認定の段階】

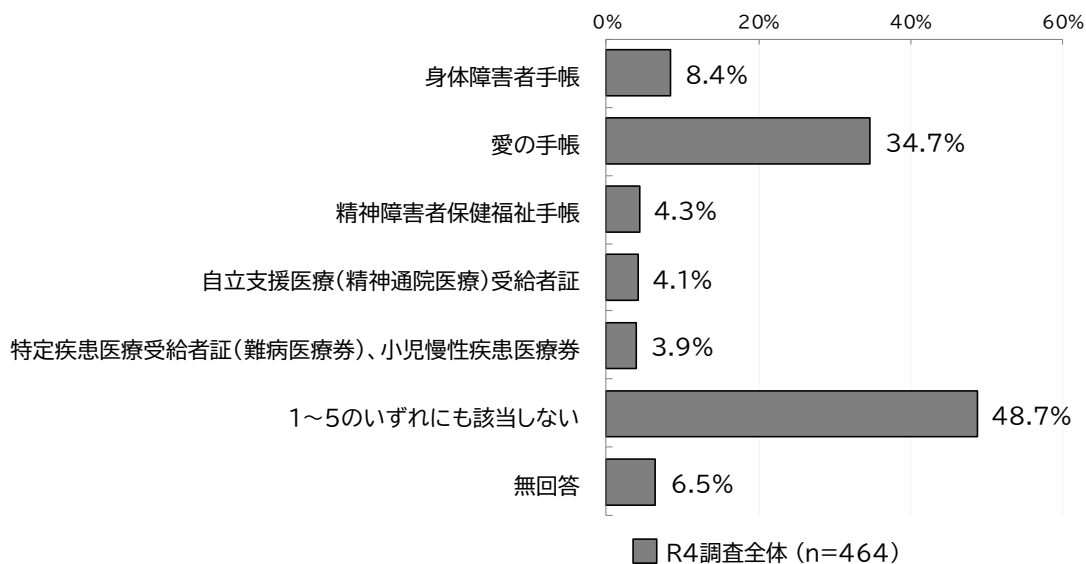
介護認定の段階について、令和4年調査全体では「要支援1」が19.8%と最も高く、次いで「要支援2」が18.6%、「要介護2」が18.0%となっています。

障害種別ごとにみると、知的障害と発達障害以外の障害種別では、約7割が「要支援1」～「要介護2」のいずれかとなっています。



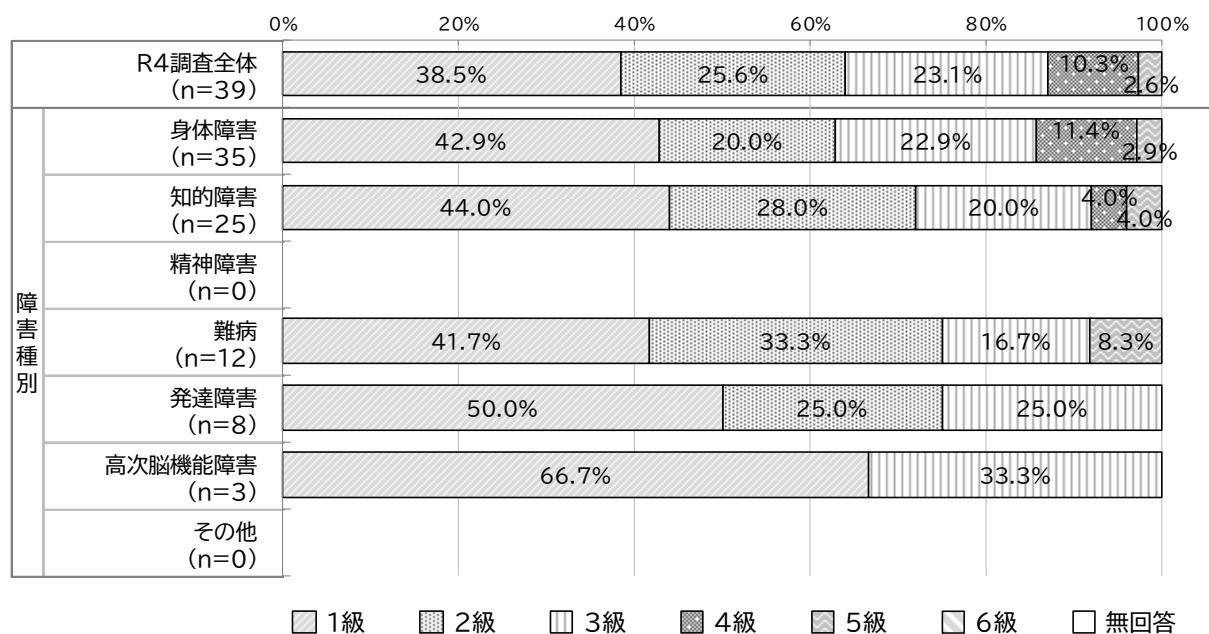
<障害児調査 問3>

持っている障害者手帳について、令和4年調査全体では「該当しない」が48.7%と最も高く、次いで「愛の手帳」が34.7%、「身体障害者手帳」が8.4%となっています。



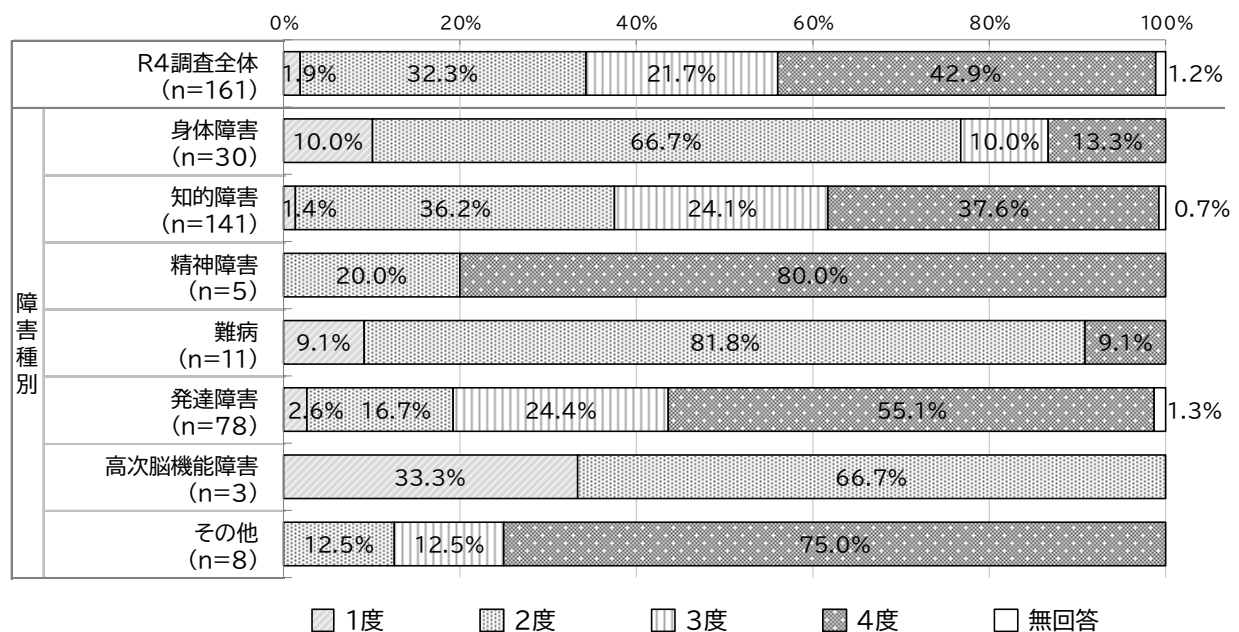
【身体障害者手帳の等級】

身体障害者手帳の等級について、令和4年調査全体では「1級」が38.5%と最も高く、次いで「2級」が25.6%、「3級」が23.1%となっています。



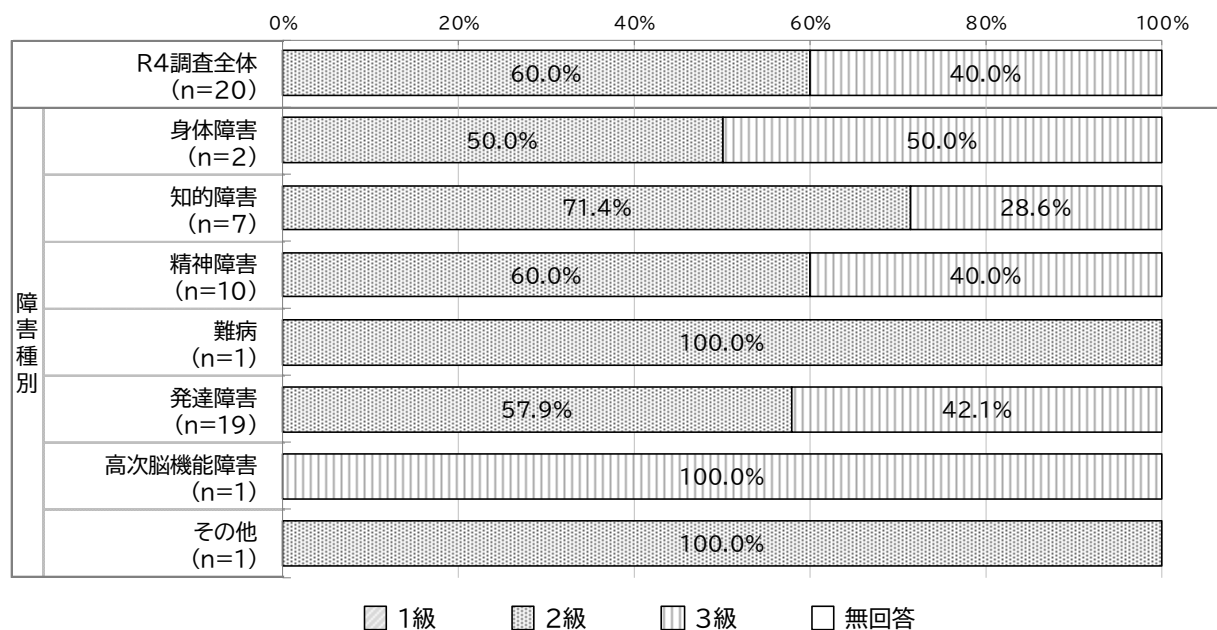
【愛の手帳の等級】

愛の手帳の等級について、令和4年調査全体では「4度」が42.9%と最も高く、次いで「2度」が32.3%、「3度」が21.7%となっています。



【精神障害者保健福祉手帳の等級】

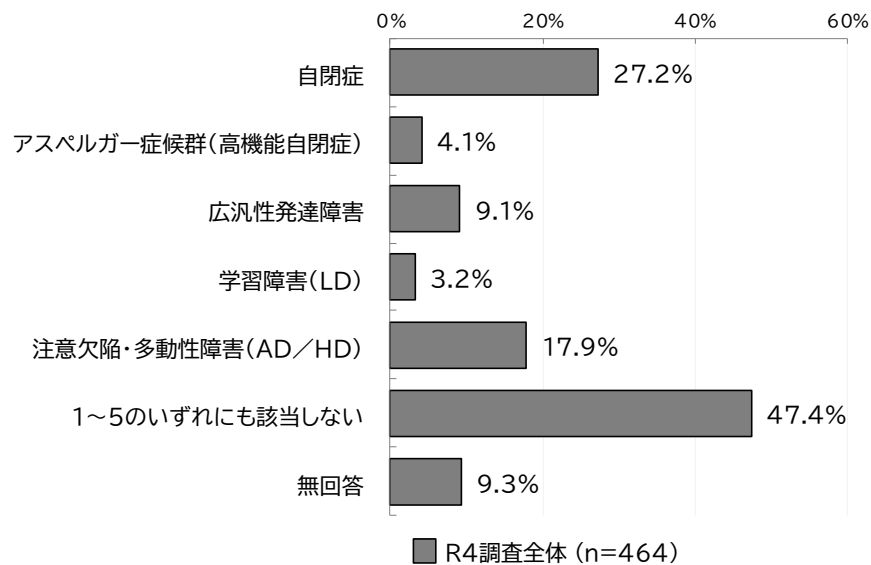
精神障害者保健福祉手帳の等級について、令和4年調査全体では「2級」が60.0%と最も高く、次いで「3級」が40.0%となっています。



問. お子様は、次のような診断を受けていますか。あてはまるものすべてに〇をつけてください。

<障害児調査 問4>

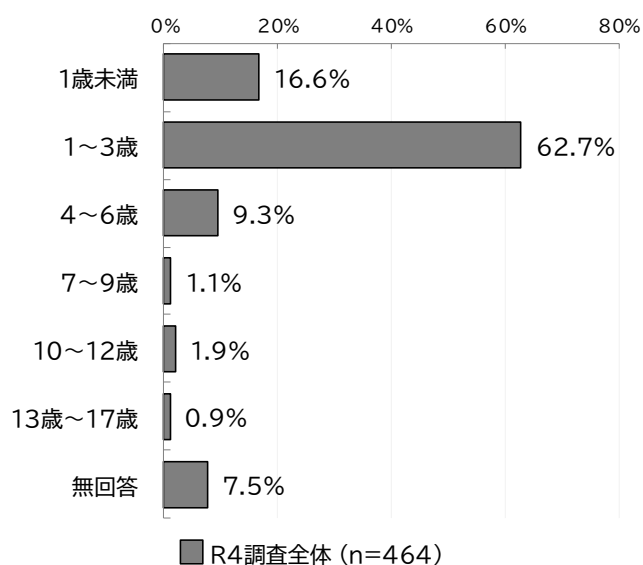
発達に関する診断を受けているかについて、令和4年調査全体では「いずれにも該当しない」が47.4%と最も高く、次いで「自閉症」が27.2%、「注意欠陥・多動性障害(AD/HD)」が17.9%となっています。



問. お子様の発達に関する問題について、ご家族の方が最初に気づいたのは、お子様が何歳の時ですか。年齢を記入してください。

<障害児調査 問5>

子どもの発達に関する問題を、家族が最初に気づいた年齢について、令和4年調査全体では「1～3歳」が62.7%と最も高く、次いで「1歳未満」が16.6%となっています。

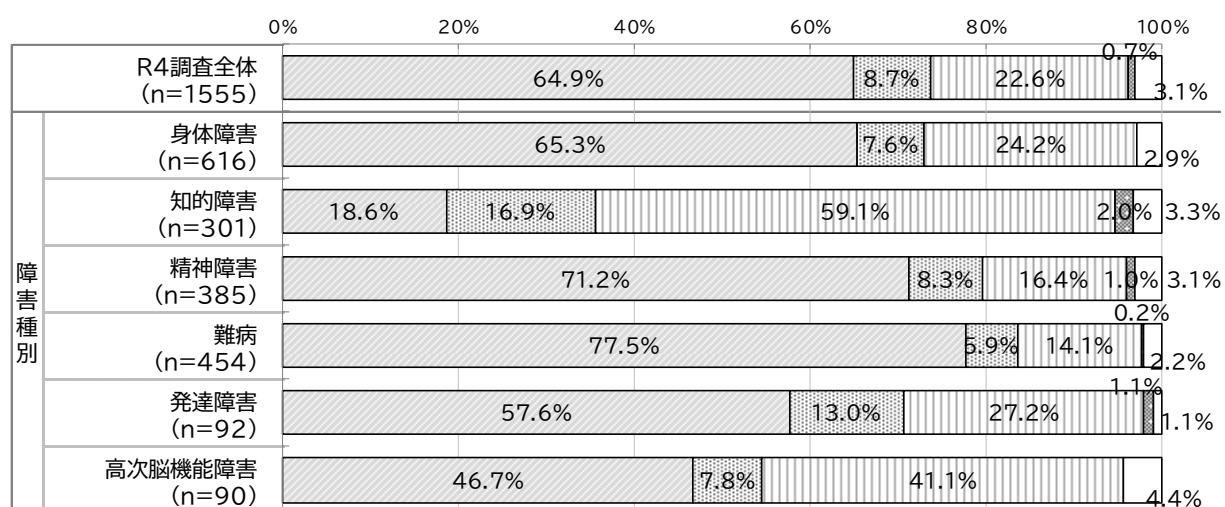


問. 調査に回答いただいている方は、どなたですか。あてはまるもの1つに〇をつけてください。

<障害者調査 問4>

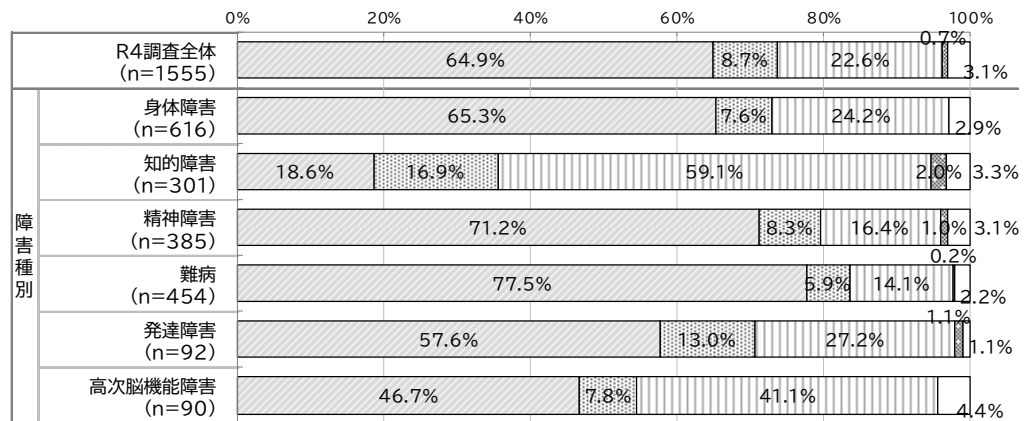
本調査を誰が回答しているかについて、令和4年調査全体では「ご本人様が、ひとりで回答」が64.9%と最も高く、次いで「ご家族の方が、ご本人様の代わりに回答」が22.6%、「ご本人様が、介助・支援を受けながら回答(補助・代筆など)」が8.7%となっています。

障害種別ごとにみると、知的障害では「ご家族の方が、ご本人様の代わりに回答」が59.1%と最も高く、他の障害種別は「ご本人様が、ひとりで回答」が最も高くなっています。



- ご本人様が、ひとりで回答
- ご本人様が、介助・支援を受けながら回答(補助・代筆など)
- ご家族の方が、ご本人様の代わりに回答
- その他
- 無回答

<参考 R1調査 障害者調査・障害児調査>

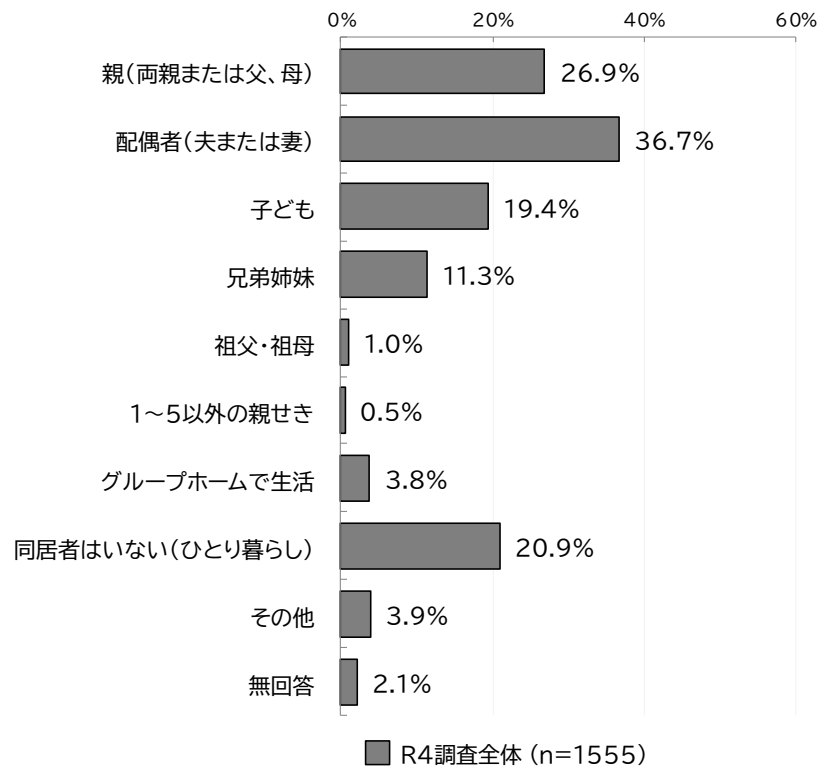


- ご本人様が、ひとりで回答
- ご本人様が、介助・支援を受けながら回答(補助・代筆など)
- ご家族の方が、ご本人様の代わりに回答
- その他
- 無回答

問. あなた(ご本人)は現在、どなたと一緒に暮らしていますか。一緒に生活されている方
すべてに○をつけてください。

<障害者調査 問5>

同居者について、令和4年調査全体では「配偶者(夫または妻)」が36.7%と最も高く、次いで「親(両親または父、母)」が26.9%、「同居者はいない(ひとり暮らし)」が20.9%となっています。



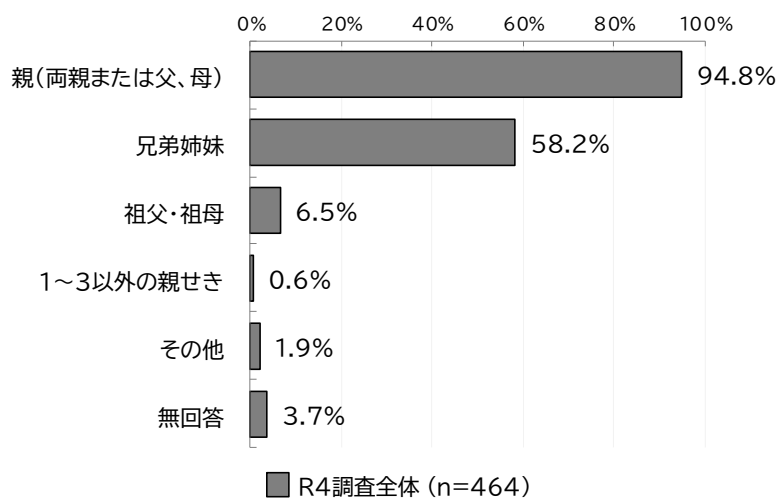
障害種別ごとにとみると、「親(両親または父、母)」が知的障害で66.8%、発達障害で65.2%と他の障害種別と比較して高くなっています。また、知的障害で「グループホームで生活」が15.3%、難病で「配偶者(夫または妻)」が54.4%と他の障害種別と比較して高くなっています。

年齢ごとにとみると、18～39歳で「親(両親または父、母)」が65.6%と他の年齢と比較して高くなっています。一方、40歳以上の年齢では「配偶者(夫または妻)」が高くなっています。

1段目 人 2段目 %		合計	問5.同居者構成									
			親 (両親または父、 母)	配偶者 (夫または妻)	子ども	兄弟 姉妹	祖父・ 祖母	1 ～ 5 以外 の親 せき	グ ル ー プ ホ ー ム で 生 活	同 居 者 は い な い (ひ と り 暮 ら し)	そ の 他	無 回 答
障害 種別	身体障害	616 100.0%	84 13.6	273 44.3	143 23.2	35 5.7	4 0.6	1 0.2	14 2.3	145 23.5	28 4.5	14 2.3
	知的障害	301 100.0%	201 66.8	3 1.0	2 0.7	89 29.6	8 2.7	3 1.0	46 15.3	23 7.6	15 5.0	5 1.7
	精神障害	385 100.0%	130 33.8	97 25.2	63 16.4	54 14.0	5 1.3	1 0.3	8 2.1	107 27.8	15 3.9	6 1.6
	難病	454 100.0%	79 17.4	247 54.4	125 27.5	32 7.0	5 1.1	4 0.9	7 1.5	74 16.3	17 3.7	10 2.2
	発達障害	92 100.0%	60 65.2	10 10.9	7 7.6	29 31.5	3 3.3	0 0.0	2 2.2	12 13.0	4 4.3	1 1.1
	高次脳機能障害	90 100.0%	22 24.4	27 30.0	21 23.3	11 12.2	0 0.0	0 0.0	3 3.3	23 25.6	9 10.0	1 1.1
年齢 別	18～39歳	311 100.0%	204 65.6	46 14.8	26 8.4	78 25.1	13 4.2	2 0.6	20 6.4	34 10.9	8 2.6	3 1.0
	40～64歳	661 100.0%	197 29.8	243 36.8	140 21.2	67 10.1	3 0.5	3 0.5	29 4.4	142 21.5	20 3.0	13 2.0
	65～74歳	301 100.0%	10 3.3	150 49.8	61 20.3	24 8.0	0 0.0	2 0.7	7 2.3	80 26.6	17 5.6	6 2.0
	75歳以上	258 100.0%	1 0.4	126 48.8	70 27.1	6 2.3	0 0.0	0 0.0	3 1.2	64 24.8	15 5.8	6 2.3

<障害児調査 問6>

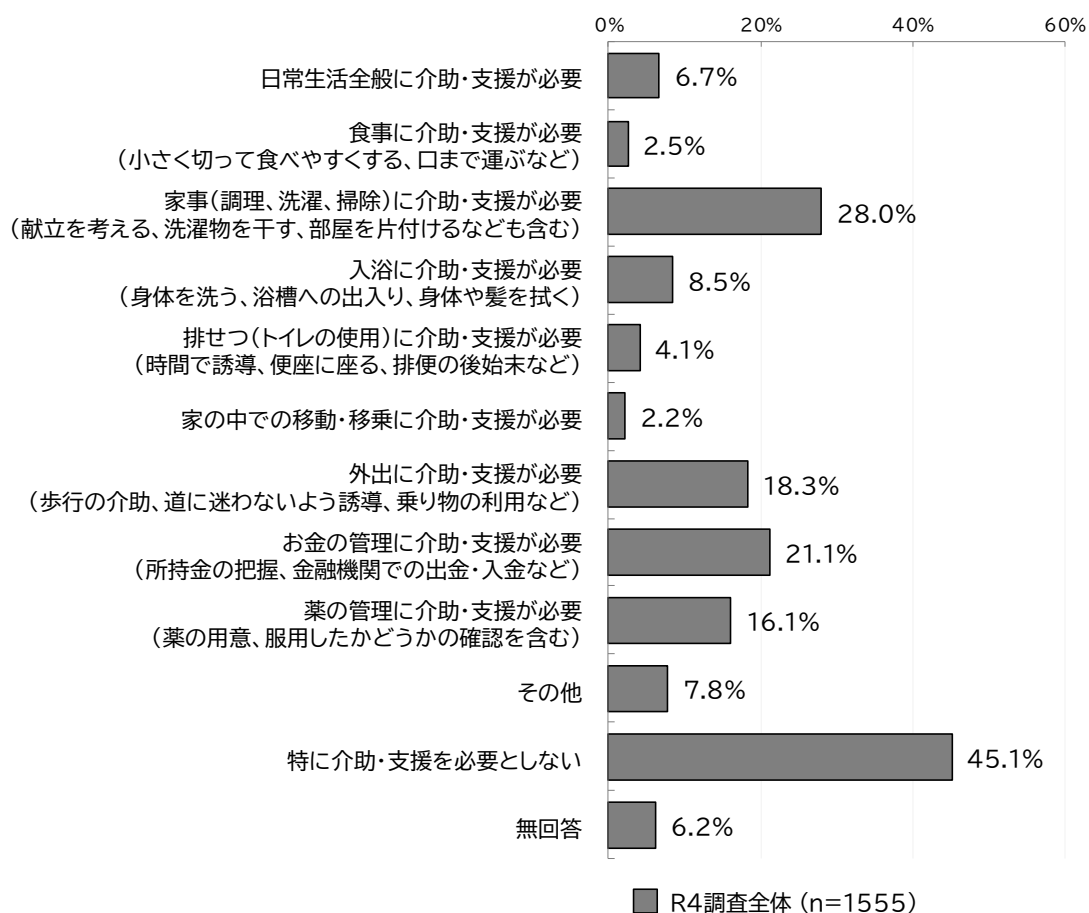
同居者について、令和4年調査全体では「親(両親または父、母)」が94.8%と最も高く、次いで「兄弟姉妹」が58.2%、「祖父・祖母」が6.5%となっています。



問. あなた(ご本人)は、日常生活の中で介助や支援が必要ですか。また、どのようなことに介助などが必要ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。ただし、以下の「2～9」までのすべてで介助・支援が必要な場合、「1」だけに○をつけてください。

<障害者調査 問6>

日常生活での介助や介護の必要性について、令和4年調査全体では「特に介助・支援を必要としない」が45.1%と最も高く、次いで「家事」が28.0%、「お金の管理」が21.1%となっています。また、「日常生活全般に介助・支援が必要」と回答した方は6.7%となっています。



障害種別ごとにみると、難病で「特に介助・支援を必要としない」が62.1%と他の障害種別と比較して高くなっています。また、知的障害で「お金の管理」が59.8%と他の障害種別と比較して高くなっています。

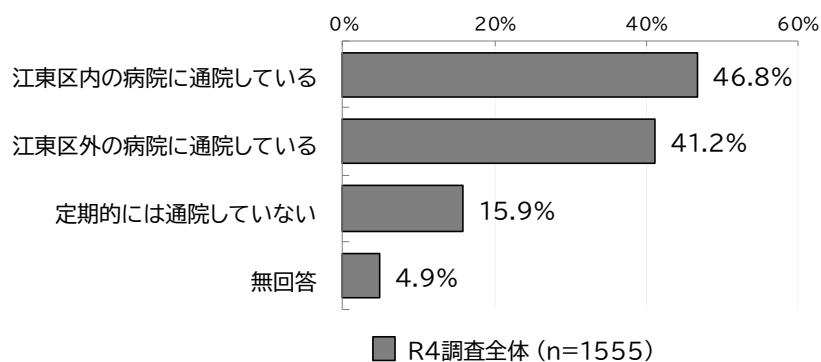
年齢ごとにみると、18～39歳で「家事」が39.2%、「お金の管理」が35.4%と他の年齢と比較して高くなっています。一方、40歳以上の年齢では「特に介助・支援を必要としない」が40%以上で高くなっています。

1段目 人 2段目 %	合計	問6.日常生活で介助や支援の必要性																								
		日常生活全般に介助・支援が必要	口まで運ぶなど	食事（調理、洗濯物を干す、部屋を片付けるなども含む）	家事（調理、洗濯、掃除）に介助・支援が必要（献立を考	え入浴に介助・支援が必要（身体を洗う、浴槽への出入り、	身体や髪を拭く）	入浴に介助・支援が必要（時間を誘	導、便座に座る、排便の後始末など）	排せつ（トイレの使用）に介助・支援が必要（時間誘	導、便座に座る、排便の後始末など）	家の中の移動・移乗に介助・支援が必要	外出に介助・支援が必要（歩道の介助、道に迷わないよう	誘導、乗り物の利用など）	お金の管理に介助・支援が必要（所持金の把握、金融機関	での入金・入金など）	お金の管理に介助・支援が必要（薬の用意、服用したかどうか	の管理に介助・支援が必要（薬の用意、服用したかどうか	その他	特に介助・支援を必要としない	無回答					
身体障害	616	66	18	155	65	25	24	137	88	76	57	261	38	100.0%	10.7	2.9	25.2	10.6	4.1	3.9	22.2	14.3	12.3	9.3	42.4	6.2
知的障害	301	46	17	150	54	38	2	104	180	122	20	43	13	100.0%	15.3	5.6	49.8	17.9	12.6	0.7	34.6	59.8	40.5	6.6	14.3	4.3
精神障害	385	16	4	136	21	6	4	51	79	71	38	149	24	100.0%	4.2	1.0	35.3	5.5	1.6	1.0	13.2	20.5	18.4	9.9	38.7	6.2
難病	454	19	11	84	30	11	14	68	51	41	22	282	27	100.0%	4.2	2.4	18.5	6.6	2.4	3.1	15.0	11.2	9.0	4.8	62.1	5.9
発達障害	92	7	3	37	6	3	1	17	34	25	9	31	2	100.0%	7.6	3.3	40.2	6.5	3.3	1.1	18.5	37.0	27.2	9.8	33.7	2.2
高次脳機能障害	90	5	3	39	13	7	7	32	34	33	11	23	8	100.0%	5.6	3.3	43.3	14.4	7.8	7.8	35.6	37.8	36.7	12.2	25.6	8.9
18～39歳	311	30	9	122	31	20	1	75	110	88	28	109	7	100.0%	9.6	2.9	39.2	10.0	6.4	0.3	24.1	35.4	28.3	9.0	35.0	2.3
40～64歳	661	30	11	172	41	18	9	95	130	91	54	328	37	100.0%	4.5	1.7	26.0	6.2	2.7	1.4	14.4	19.7	13.8	8.2	49.6	5.6
65～74歳	301	19	5	66	29	14	10	44	49	34	23	147	27	100.0%	6.3	1.7	21.9	9.6	4.7	3.3	14.6	16.3	11.3	7.6	48.8	9.0
75歳以上	258	23	13	74	30	10	13	67	38	37	16	105	20	100.0%	8.9	5.0	28.7	11.6	3.9	5.0	26.0	14.7	14.3	6.2	40.7	7.8

問. あなた(ご本人)は、定期的(月に1回以上)に病院へ通院をしていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

<障害者調査 問7>

定期的に病院へ通院しているかについて、令和4年調査全体では「江東区内の病院に通院している」が46.8%と最も高く、次いで「江東区外の病院に通院している」が41.2%、「定期的には通院していない」が15.9%となっています。



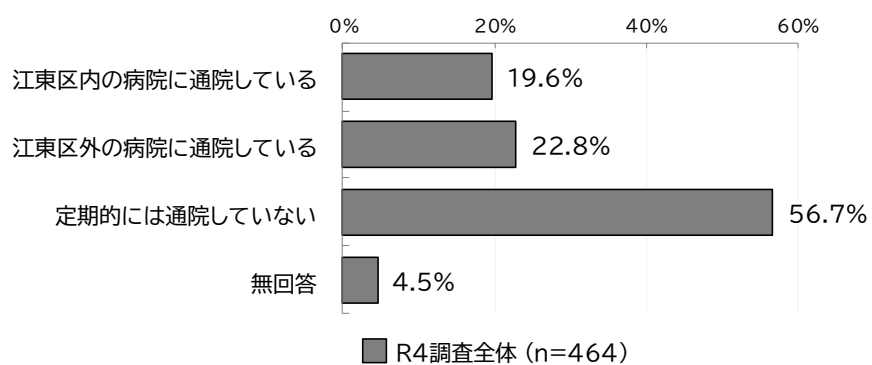
障害種別ごとにとみると、高次脳機能障害で「江東区内の病院に通院している」が61.1%と他の障害種別と比較して高くなっています。また、知的障害で「定期的には通院していない」が27.2%と他の障害種別と比較して高くなっています。

年齢ごとにとみると、年齢が上がるほど「江東区内の病院に通院している」が高くなっており、75歳以上で64.3%となっています。

	1段目 人 2段目 %	合 計	問7.定期的な通院状況			
			江東区内の病院に通院している	江東区外の病院に通院している	定期的には通院していない	無回答
障害種別	身体障害	616 100.0%	326 52.9	207 33.6	111 18.0	44 7.1
	知的障害	301 100.0%	135 44.9	95 31.6	82 27.2	18 6.0
	精神障害	385 100.0%	193 50.1	194 50.4	23 6.0	5 1.3
	難病	454 100.0%	177 39.0	242 53.3	54 11.9	16 3.5
	発達障害	92 100.0%	39 42.4	44 47.8	17 18.5	3 3.3
	高次脳機能障害	90 100.0%	55 61.1	34 37.8	5 5.6	8 8.9
年齢別	18～39歳	311 100.0%	108 34.7	142 45.7	73 23.5	13 4.2
	40～64歳	661 100.0%	283 42.8	310 46.9	105 15.9	18 2.7
	65～74歳	301 100.0%	161 53.5	111 36.9	45 15.0	11 3.7
	75歳以上	258 100.0%	166 64.3	70 27.1	21 8.1	30 11.6

<障害児調査 問7>

定期的に病院へ通院しているかについて、令和4年調査全体では「定期的には通院していない」が56.7%と最も高く、次いで「江東区外の病院に通院している」が22.8%、「江東区内の病院に通院している」が19.6%となっています。



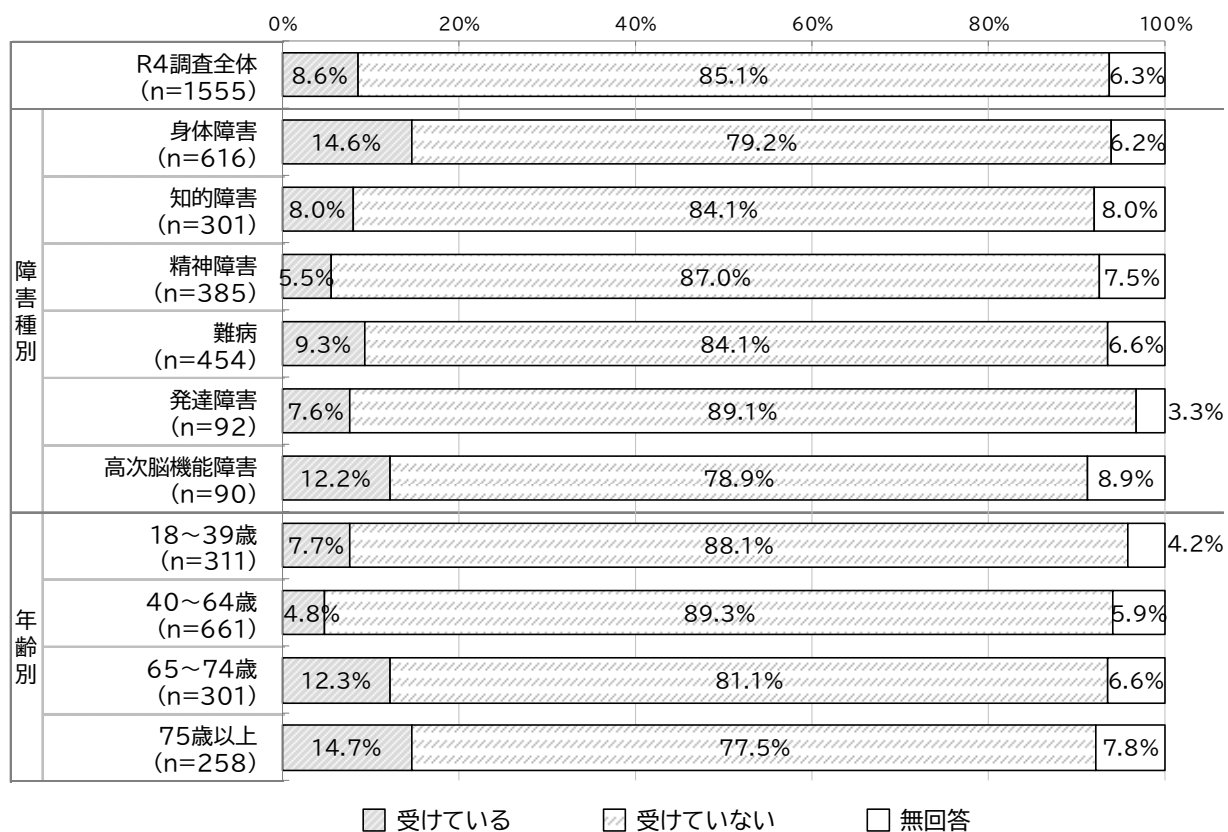
問. あなた(ご本人)は、日常生活の中で、医療的なケア(在宅における医療的な支援)を受けていますか。受けている場合はどのような医療的なケアを受けていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

<障害者調査 問8>

日常生活での医療的ケアの状況について、令和4年調査全体では「受けていない」が85.1%、「受けている」が8.6%となっています。

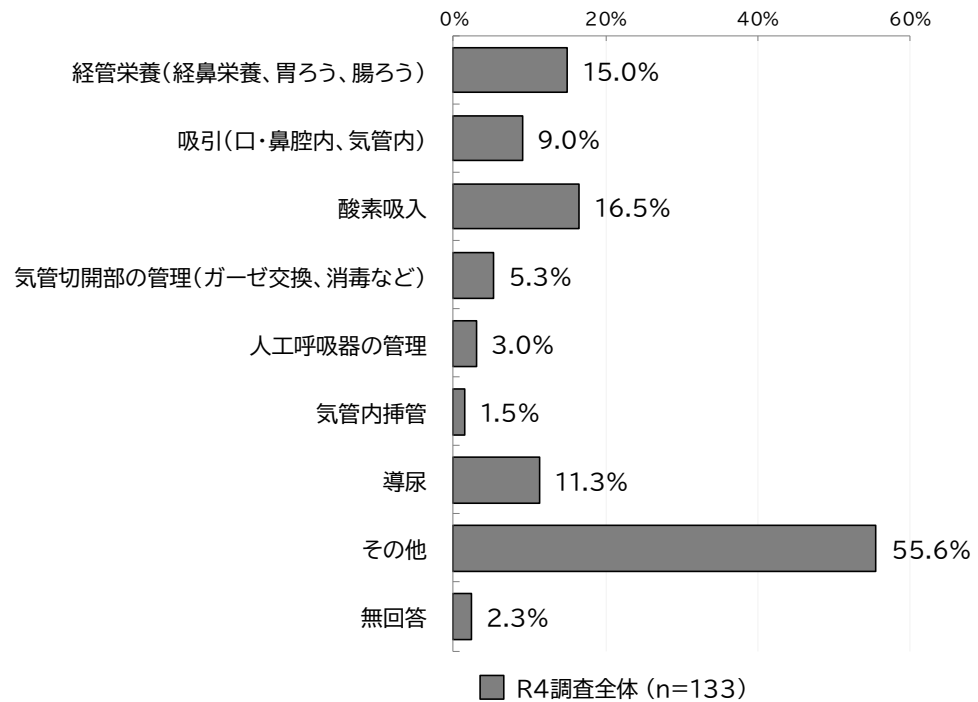
障害種別ごとにみると、「受けている」が最も高いのは身体障害で14.6%、次いで高次脳機能障害で12.2%となっています。

年齢ごとにみると、「受けている」が最も高いのは75歳以上で14.7%、次いで65～74歳で12.3%となっています。



【受けている医療的ケアの内訳】

日常生活で医療的ケアを受けている方のその内訳について、令和4年調査全体では「その他」が55.6%と最も高く、次いで「酸素吸入」が16.5%、「経管栄養(経鼻栄養、胃ろう、腸ろう)」が15.0%となっています。



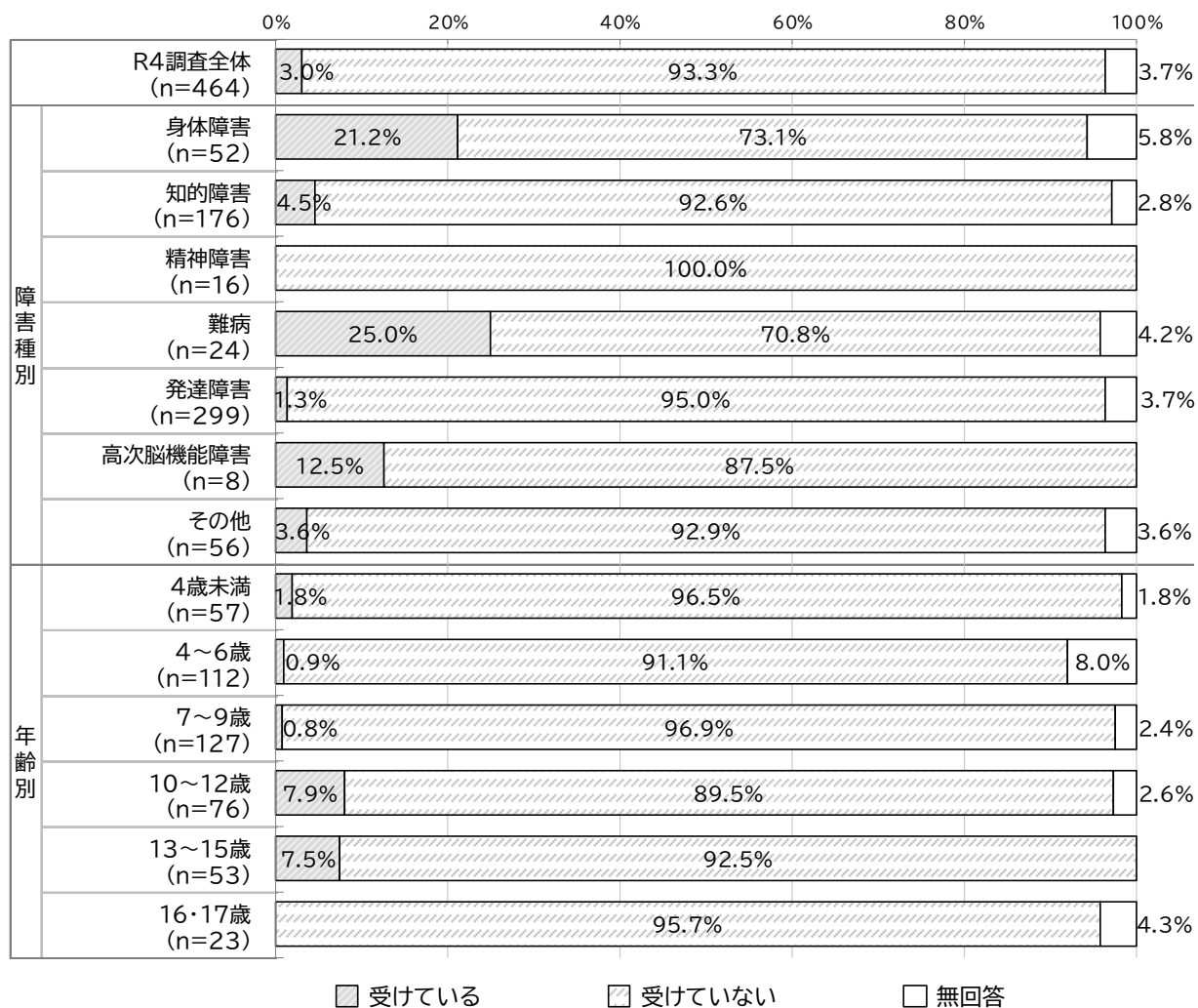
障害種別ごとにとみると、発達障害以外の障害種別は「その他」が最も高くなっています。次いで、身体障害と知的障害は「経管栄養(経鼻栄養、胃ろう、腸ろう)」が高く、精神障害と難病は「酸素吸入」が高くなっています。

年齢ごとにとみると、18～39歳で「吸引(口・鼻腔内、気管内)」が20.8%と他の年齢と比較して高くなっています。

1段目 人 2段目 %	合計	問8(1).受けている医療的ケアの内訳									
		ろ経管 う、栄養 腸ろう(経 鼻栄養、 胃)	内吸 (口・ 鼻腔内、 気管)	酸素 吸入	ゼ気 交換切 開部の 管理(ガ ー)	人工呼 吸器の 管理	気管 内挿管	導尿	その他	無 回答	
障害種別	身体障害	90 100.0%	17 18.9	11 12.2	13 14.4	5 5.6	3 3.3	2 2.2	12 13.3	47 52.2	3 3.3
	知的障害	24 100.0%	9 37.5	7 29.2	4 16.7	2 8.3	1 4.2	1 4.2	3 12.5	10 41.7	1 4.2
	精神障害	21 100.0%	0 0.0	3 14.3	4 19.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	16 76.2	1 4.8
	難病	42 100.0%	7 16.7	3 7.1	8 19.0	2 4.8	1 2.4	1 2.4	5 11.9	26 61.9	1 2.4
	発達障害	7 100.0%	3 42.9	3 42.9	3 42.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 14.3	3 42.9	0 0.0
	高次脳機能障害	11 100.0%	1 9.1	1 9.1	1 9.1	0 0.0	1 9.1	0 0.0	1 9.1	8 72.7	1 9.1
年齢別	18～39歳	24 100.0%	7 29.2	5 20.8	4 16.7	3 12.5	1 4.2	1 4.2	4 16.7	11 45.8	0 0.0
	40～64歳	32 100.0%	7 21.9	4 12.5	4 12.5	2 6.3	1 3.1	1 3.1	4 12.5	18 56.3	1 3.1
	65～74歳	37 100.0%	3 8.1	2 5.4	6 16.2	2 5.4	1 2.7	0 0.0	3 8.1	23 62.2	0 0.0
	75歳以上	38 100.0%	2 5.3	1 2.6	7 18.4	0 0.0	1 2.6	0 0.0	4 10.5	22 57.9	2 5.3

<障害児調査 問8>

日常生活での医療的ケアの状況について、令和4年調査全体では「受けていない」が93.3%、「受けている」が3.0%となっています。



【受けている医療的ケアの内訳】

日常生活で医療的ケアを受けている方のその内訳について、令和4年調査全体では「経管栄養(経鼻栄養、胃ろう、腸ろう)」「酸素吸入」が同率で42.9%と最も高く、次いで「吸引(口・鼻腔内、気管内)」「その他」が同率で35.7%となっています。

